

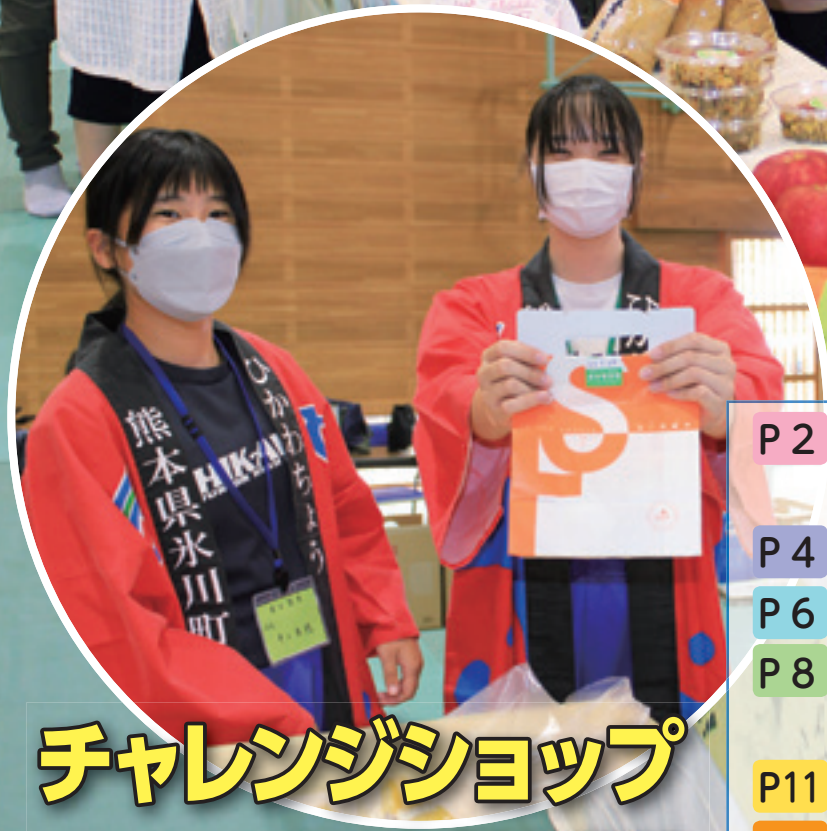


氷川町議会だより

清流ひかわ

No.44

令和4年
9月定例会



チャレンジショップ 氷川中学校

- P 2 物価高騰対策・道路改良など
令和4年度補正予算決まる
- P 4 常任委員会審査…委員長報告
- P 6 令和3年度一般会計他4会計決算を認定
- P 8 そりが聞きたい…一般質問
3議員が町政を質す
- P11 議会日誌
- P12 ひと…「いい汗がかけました」
「梨マラソン大会」最高齢者 鬼塚秀親さん

令和4年
9月議会

ふるさと納税・町道改良・物価高騰対策等事業 財政調整基金・ふるさと氷川応援基金積立

令和4年度 氷川町一般会計補正予算(第5・6号) 10億138万円 決まる

専決処分

○令和4年度氷川町一般会計補正予算(第4号)
コロナ感染予防対策で敬老会関連行事を中止した為、関係予算を375万円減額しました。

条例の一部改正

○氷川町議会議員及び氷川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正
公職選挙法施行令の一部が改正され、町議会議員及び氷川町長選挙の選挙運動用自動車使用等の公営に関し、公職選挙法の規定により、国政選挙に準じ町条例を定めるとされているため、所要の改正をしました。(選挙運動用自動車の使用等の公営に要する経費の限度額を引き上げる)

○氷川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院規則が改正されたことに伴い、国家公務員の措置に準じ、育児休暇を取得しやすい勤務環境を整備するため、条例を一部改正しました。

大野仲の間神太夫線
道路改良工事予定地



旧国道2号線改良工事予定地

補正予算

○令和4年度氷川町一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ9億9762万円を追加し、予算の総額を80億4674万円としました。

主な歳出予算

●総務費	
ふるさと納税事業支援業務委託料	21000万円
財政調整基金積立金	34000万円
ふるさと氷川応援基金積立金	35101万円

●民生費

コロナ感染対策	
・病児・病後児保育事業委託料	30万円
・放課後児童クラブ健全育成事業委託料	120万円
・保育対策総合支援事業費補助金	421万円
特定教育・保育施設給食費補助金	269万円
一時預かり事業補助金	189万円

●農林水産業費

くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業補助金	424万円
新規就農者総合対策事業(経営発展支援事業)補助金	334万円

●土木費

道路維持修繕費	520万円
町道中網道西網道線道路改良測量設計業務委託料	1330万円
町道旧国道2号線道路改良工事(柵工区)	1200万円
町道大野仲の間神太夫線道路改良工事	1750万円
下水道事業特別会計繰出金	1243万円

●教育費

文化財保存補助金	40万円
竜北歴史資料館備品購入費	40万円
学校給食共同調理場改修工事設計業務委託料	935万円

○令和4年度氷川町一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出それぞれ376万円を追加し、予算の総額を80億5050万円としました。

主な歳出予算

●衛生費	
新型コロナウイルスワクチン接種対策関係費用	376万円

○令和4年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ23万円を追加し、予算の総額を18億6209万円としました。

主な歳出予算

●総務費	
コクホライン事業報告システム法改正対応委託料他	23万円



氷川町 過疎地域持続的発展計画策定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が制定され、氷川町が一部過疎地域に指定されたことに伴い、竜北地区の持続的な発展に関し必要な事項を定める為、過疎地域持続的発展市町村計画の策定について、議会の議決が必要。9月議会に計画書が提案され、議会は慎重に審議し議決しました。

○令和4年度氷川町介護保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ9079万円を追加し、予算の総額を17億4693万円としました。

主な歳出予算

●地域支援事業費	
緊急通報体制等整備事業使用料	40万円
●諸支出金	
償還金(国・県・支払基金等)	7682万円
繰出金(町費等)	1352万円

○令和4年度氷川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1243万円を追加し、予算の総額を5億1275万円としました。

主な歳出予算

●公共下水道事業費	
流域下水道維持管理負担金	1012万円
マンホール嵩下げ修繕料他	231万円

人権擁護委員候補者の
推薦に同意
氏名 沖村 眞一氏
住所 氷川町野津
藤本一臣町長から、沖村眞一氏を人権擁護委員の候補者として推薦したいと、議会に同意が求められました。慎重に審議し、全会一致で推薦に同意しました。

総務文教常任委員会審査報告

委員長 木下 厚

総務文教常任委員会に付託された案件は採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。主な質疑を紹介します。

○氷川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

清田議員 非常勤職員が育児休業を取得した場合の身分はどのようになるのか。
総務課長 任期期間中は身分が保障されます。

吉川議員 育児休業の柔軟化とは。
総務課長 育児休業の開始日が1歳到達日の翌日、又は1歳6か月到達日の翌日となっていたものを、配偶者が育児休業を取得する場合は、その期間の末日の翌日以前の日としたことで夫婦交代での取得が可能となりました。

○令和4年度氷川町一般会計補正予算(第5号)
ふるさと納税の状況は
清田議員 ふるさと納税事業支援業務委託料の内容は。
企画財政課長 寄付金額が増えたため委託料が増加。委託先は7社で各社の寄附受付額が違つたため、受付額に

応じて委託料は算定される。委託費は返礼品の費用とそれに係る事務費を含んだ費用となる。地元効果は、少なくとも納税額の30%は、地元の返礼品のため、その分が経済効果となります。

LINEの委託内容は

吉川議員 町公式LINE機能拡張システム構築委託料は何か。
企画財政課長 業者はこれから選定します。スマホアプリのLINE機能を利用して、町からの情報発信、各種相談事業や施設の予約ができることを想定して、将来的には国が進めるマイナンバーカードを利用したシステムと連携させていきたいと思ひます。

基金はどのようになっていくか

吉川議員 財政調整基金積立金の状況は。
企画財政課長 当然突発的な対応ができるよう基金財源の確保は必須で、災害等に対応できるよう財政調整基金の確保が必要。当初予算で、5億2千万円取崩し、今回3億4千万円を積立しています。しかし、前年度の基金額には不足する状況です。

修繕から改修工事へ変更理由は
吉川議員 学校給食共同調理場改修工事設計業務委託料は、修繕費から委託料に見直したのは何か。
学校教育課長 通常点検で指摘されたカビや腐食の対応として、昨年度から2年計画で、天井塗装のため修繕費で計上していました。今年になって、天井材の破片の落下があり、屋根裏等の調査をして改修工事が必要と判断し、設計予算に変更しました。また、床もタイル張りの見直しや職場環境の改善なども含めた予算です。

氷川町過疎地域持続的発展計画の策定

吉川議員 日常生活支援機能の低下とは何を示しているのか。
地域振興課長 交通の問題、店が少ないなど、日常生活で不便が生じていることです。
吉川議員 農業立町だけご定住させる住宅政策が必要とあるが、農業振興と住宅政策の両立はできるのか。
企画財政課長 計画書は、それぞれの課で記載した。今後、総合的に調整する必要があります。

産業建設厚生常任委員会審査報告

委員長 西尾正剛

産業建設厚生常任委員会に付託されました案件は、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

主な質疑を紹介します。

○氷川町一般会計補正予算(第4号)

敬老会の記念品は
米村議長 敬老会の対象者はどの位か。コロナ禍においてお菓子に代わる記念品を配布することを検討されなかったのか。
福祉課長 対象者は2300人程度。敬老会運営はイベント会社に委ねる事で打合せを進めておりました。会場の空調が故障した状態で、扇風機を利用して開催を予定していたが高齢者に対する新型コロナウイルスの影響を考慮しての中止としました。記念品については、お菓子に代わる品物を急遽選ぶことに苦慮した。結果的に、昨年同様に名簿を配布することにしました。

来年度は、開催の仕方と併せて記念品の検討を充分に行いたいと思ひます。

○氷川町一般会計補正予算(第5号)

給食費補助金の内容は
西尾議員 保育施設給食費補助金269万円の説明を。
福祉課長 副食費で新規です。6月議会で学校教育課が補正しましたが、同様の補助で保育園の副食費の補助とした補正予算の計上です。主食費は3千円。副食費は4千5百円かかるが、保育園はご飯持参のため保護者からの主食費の徴収は無く、補助対象は副食費です。

物産館の修繕料の内容は

上田俊孝議員 農林水産業費の物産館費43万円の修繕料は。
農業振興課長 おやつ工房の看板が劣化して視認性が悪いため看板をやり直し。物産館西側出荷者のトイレ改修、出荷者出入口のサッシに歪みがあり施錠に支障があるため修繕します。

機構集積、経営転換協力金返還は

西尾議員 農業委員会費の機構集積協力金返還金の494千円の補正

と歳入の経営転換協力金返還金はどういう内容か。
農地課長 農業をリタイヤ等の理由により、全ての農地を10年間農地管理公社に貸し出すことで交付金を受け取ることがありますが、10年経過しないうちに契約を解除したため、返還が必要となったもので、熊本県への返還です。

新規就業者総合対策事業補助金とは

西尾議員 農業振興費の新規就業者総合対策事業補助金として333万6千円の補正内容は。
農業振興課長 新規就農者の就業後の経営発展のため、機械、施設等を導入するものであり、補助対象事業費の上限は1000万円、国2分の1、県4分の1、残りの4分の1が自己負担となります。

飯田議員 農業振興費のくまもと土地利用型農業競争力強化支援事業補助金423万6千円とあるがその内容は。
農業振興課長 米、もち米を中心とした土地利用型農業の競争力強化を図るための県の事業であり、農事



学校給食共同調理場



宮原浄化センター

組合法人の規模拡大、コスト削減を図ることを目的とした事業です。今回は、「肥の川南」と「アグリ鹿島」がトラクターなどの農業用機械導入で採択を受けています。

○氷川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

西尾議員 流域下水道維持管理負担金1012万2千円は、宮原処理区の接続工事に係る分か。
建設下水道課長 流域下水道の維持管理に係る分であり、当初予算では予定水量で計上していましたが、今年度分の数値が確定したことによる補正です。

長尾議員 公共交通の近隣自治体との連携は。
総務課長 現在、八代市が実施する乗り合いタクシー事業に参加している。今後も必要な支援について定住自立圏内で協議します。
清田議員 人材育成・雇用の対策は。
地域振興課長 八代市と連携し、八代雇用促進センターを設置。地元企業と地元高校生のマッチングを実施しています。

令和3年度
決算

感染症拡大防止対策・暮らし・福祉の充実に



一般会計 73億4611万円 町民一人当たり約65万1千円を支出

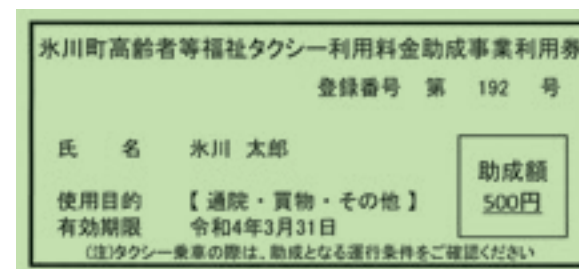
小中学校のトイレ改修



借入金の返済金です。

議会費
6471万円

ペーパーレス会議システム導入
行政のデジタル化推進へ



9月議会では、令和3年度氷川町一般会計決算を含む5会計の決算審査を行い、すべての決算を認定しました。
一般会計の支出額は、73億4610万9千円でした。これは、町民一人当たり約65万1千円を支出したことになります。
収入では、町税は前年度より増となっています。ふるさと寄附金が大幅に増加しました。

消防用小型動力ポンプ積載車購入・消防施設整備
宮原地区防災公園整備に

消防費
3億5048万円

町内商工業活性化
プレミアム商品券等に

商工費
9407万円



農林水産業費
4億681万円

歳出
73億4611万円

民生費
17億2790万円

土木費
6億6562万円

衛生費
7億3581万円

教育費
3億2043万円

公債費
9億7071万円

総務費
20億954万円

子どもの医療費助成
高齢者等福祉タクシー
食の自立支援に

町債
3億6823万円

町の借入金です。

その他
1億455万円

県支出金
5億5545万円

町民税、固定資産税、軽自動車税など、みなさんが町に収めている税金です。

町税
10億1763万円

寄附金
2億5630万円

ふるさと氷川応援寄附金など。

国庫支出金
11億6982万円

保育や医療など使い道の決まった補助金です。

自主財源

繰入金
6億8310万円

依存財源

繰越金
4億2420万円

地方消費税交付金
2億5323万円

自治体の規模や人口に応じて国から交付されるお金です。

歳入
80億4712万円

その他
1億7162万円

地方交付税
30億4299万円

会計別の決算状況

(単位：円)

会計別	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額
一般会計	8,047,123,181	7,346,109,194	701,013,987
国民健康保険特別会計	2,128,847,080	1,796,024,596	332,822,484
後期高齢者医療特別会計	182,995,871	181,232,278	1,763,593
介護保険特別会計	1,790,417,762	1,536,210,393	254,207,369
下水道事業特別会計	588,785,490	517,056,103	71,729,387
合計	12,738,169,384	11,376,632,564	1,361,536,820

一般質問



一般質問

保育所廃園は重大な問題 一時凍結はできないか



吉川 義雄 議員

社会情勢の変化・老朽化や町の財政負担を考え廃園

議員 町は常葉保育園廃止について常葉保育所後援会役員に説明を行いました。少子化の影響で乳幼児が減少し、私立保育園は運営が厳しく利用定員減で実施している。また、常葉保育所は建設後25年を経過し、大規模改修等が必要となるなどの説明を行っています。

福祉課長 平成23年4月を目標に常葉保育所民営化を進め、調査、準備、検討、保護者説明会を行ってきましたが、当時、保護者や議会の理解を得ることが出来ずに当面公立保育所として存続するつもりでした。その後も保育所のあり方について検討を重ね、子ども子育て会議において様々な検討を行いました。廃止の方針としたのは、社会情勢の変化、少子化により公立保育所がなくても、民営の保育施設で保育ニーズを確保できる等時代の変化が大きな理由です。

町長 合併時の建設計画をもとに民営化が進められてきました。理解が得られず当分の間はそのまま運営をしていくと決定がされました。それから12年皆さんの意見を聞き、子ども子育て会議の中で2年半議論し、今回廃園という方針を出したところです。



常葉保育所

農業用肥料が急として いる 補助金を出して支援を



三浦 賢治 議員

国は前年度からの増加分7割 支援 残りは県と町で支援する

議員 ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料の原料価格が大幅に上昇し、農業用肥料価格が急騰している。我が町の基幹産業である農業経営に大きな損失を与えています。町として農業用肥料に対し、補助金を出し、支援することはできないか。

農業振興課長 国は肥料価格の高騰による農業経営の影響緩和を目的に、肥料価格高騰対策事業の支援策が示されたところ。前年度から増加した肥料費の7割を支援金として交付します。

用する肥料が対象です。また、県も同様で資材高騰対策として予算を確保しています。国の支援の残り3割の2分の1を補助します。町も、国県の支援の残り3割の2分の1を範囲内について支援を検討していきたいと考えています。



若洲排水機場

不知火干拓の 排水路整備事業は

議員 若洲地区の不知火干拓では大規模農業の実現のため、昭和42年に入植され55年が経過しました。イ草栽培や施設園芸に取り組んでこられました。農業に必要不可欠な排水路に土砂が堆積し、農

作物の育成に大きな影響を受けています。国県の整備事業はどうなっているのか。また、若洲排水機場は35年が経過し老朽化が深刻な状態となっていますが、整備計画はあるのか。

排水路や用水路のパイプライン、農道等は機能低下がみられ、営農に支障をきたしていることから令和元年に県で調査が行われ、熊本県、宇城市、氷川町で連携し事業化に向け、協議会を設置して取り組んでいます。

町長 排水路、用水路、道路等の整備で、総事業費は約30億円です。若洲排水機場の老朽化に伴う施設更新の基本計画策定のための基礎調査が行われ、事業化に向けて取り組んでいます。県営事業で計画し期間は令和5年度から令和10年度の6年間の予定です。

議員 町は常葉保育園廃止について常葉保育所後援会役員に説明を行いました。少子化の影響で乳幼児が減少し、私立保育園は運営が厳しく利用定員減で実施している。また、常葉保育所は建設後25年を経過し、大規模改修等が必要となるなどの説明を行っています。

福祉課長 平成23年4月を目標に常葉保育所民営化を進め、調査、準備、検討、保護者説明会を行ってきましたが、当時、保護者や議会の理解を得ることが出来ずに当面公立保育所として存続するつもりでした。その後も保育所のあり方について検討を重ね、子ども子育て会議において様々な検討を行いました。廃止の方針としたのは、社会情勢の変化、少子化により公立保育所がなくても、民営の保育施設で保育ニーズを確保できる等時代の変化が大きな理由です。

議員 物事を進めていくうえでしっかりと説明責任を果たす。そして、住民の納得と合意を得ることです。保育所を廃止するということは一大事業です。町長自ら説明される考えはあります。

議員 保育所廃園の今後の手続きはどうなりますか。

福祉課長 氷川町保育所条例を廃止する条例の議会決議が必要だと思います。

主な議会活動日誌 8月～11月

月日	行事内容
7月29日～8月3日	監査 決算審査
8月 4日	氷川町戦没者追悼式
8月 7日	氷川町消防ポンプ操法大会
8月10日	監査 例月現金出納検査
8月24日	監査 令和3年度各会計歳入歳出決算等審査意見書町長へ提出
8月24日	議会運営委員会・全員協議会
8月31日	議会運営委員会
9月 7日	監査 例月現金出納検査
9月 8日～16日	氷川町議会9月定例会
9月10日	道の駅「竜北」開駅20周年記念式典
9月14日	氷川町梨マラソン大会運営委員会
9月21日・30日	秋の交通安全運動に伴う町内巡視
9月22日～10月24日	氷川町議会広報調査特別委員会
9月23日	氷川町梨マラソン大会
9月27日	氷川まつり実行委員会
9月28日	金婚・ダイヤモンド婚夫婦表彰式
10月 1日	八代・天草シーライン推進大会（オンライン）
10月 4日	八代生活環境事務組合議会（正副議長等会議）
10月 6日	熊本県町村議会議長会（理事会）：オンライン
10月 7日	八代広域行政事務組合議会（正副議長等会議）
10月11日	監査 例月現金出納検査
10月12日～11月1日	八代広域行政事務組合議会定例会
10月12日～28日	八代生活環境事務組合議会定例会
10月13日	三神宮秋の例祭
10月14日	第48回熊本県い業大会（い草・い製品品評会）表彰式
10月17日～24日	監査 定期監査
10月27日	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会
10月29日	「道の駅」竜北ウォーキング2022
11月 9日	氷川町消防団非常招集訓練巡視
11月11日	氷川町及び八代市中学校組合議会定例会
11月24日	熊本県町村議会議長会（議会広報コンクール表彰式・研修会）



氷川町消防ポンプ操法大会



道の駅「竜北」開駅20周年記念式典



八代・天草シーライン推進大会



三神宮秋の例祭

請願

常葉保育所廃園計画撤回に関する請願は不採択に

常葉保育所後援会から提出されていた「常葉保育所廃園計画撤回に関する請願」が9月7日本会議で審議されました。

請願の趣旨は、常葉保育所廃園計画の撤回、保育園

の存続を求めるものです。本会議では、請願の趣旨説明が行われた後、質疑、討論を行い、採決の結果、請願は1対9で不採択となりました。



過疎対策・人口増加に向けた住宅政策で町の活性化を



飯田 健二 議員

国の補助を受け優良住宅を進めていく

議員 氷川警察署跡地は、県から払い下げてもらい、社会資本福祉整備事業の対象となっています。また氷川警察署跡地は、駅やバス停、幹線道路と交通の便も良く、また徒歩圏内に学校、病院、郵便局、銀行、商業施設なども充実しており高齢者から、子育て世帯までが安心して暮らしやすい1等地だと思えます。そこで多様な住宅需要に対応し（1LDK・3LDK）親族要件なしで住むことが出来る地域優良住宅（15階建マンション50床位）を整備し、超高齢化社会、人口減少、首都圏の人口流出問題の改善と町の活性化を図るべきではないか。

令和7年度末の完成を目指す
町長 今回の地域優良住宅につきましては国の補助を受けてこれから進めていきます。ただだけの規模の建物にするかは、近隣の皆様の生活もありますので、ご理解を得ながら、議論を重ね慎重に検討し有効活用できる様に進めていかなければなりません。また通勤圏内もスマートインターが出来、熊本市内まで30分で行ける様になったことで、仕事は近隣や中心市街地に行き住むのは氷川町でといったライフスタイルの新たな構築を目指すと共に移住定住として選んでいただける様な環境整備を進めていかなければなら

ないと思っております。
人口減少対策・社会を良くして地域創生を
議員 町は、先進的な社会保障が充実した政策をしてきた。それでも人口の流出、高齢化が改善されません。企業誘致による経済的人口増加対策の期待が薄い中で、取り組めるとすれば、社会保障を拡充し、社会を良くして、子どもが増え、人口も増えれば国からの交付金も増え、税収も上がり、財政も増えます。幼児保育の無償化・学校給食費の無償化に取り組みむべきではないか。
町長 私たちの仕事は、予算主義であります。理想主義

ではありません。まずは財源の担保をし、事業を行っていくのが行政の仕事の手順です。子育て支援として様々な施策を講じています。また保育料の話もありました。私もマニフェストに掲げております。4期目あと3年しかありませんので努力してまいりませぬ。一般財源をきちんと確保することで、できるサービスがあるのもしっかり考えていきます。





いい汗がかけました

「梨マラソン大会」最高齢者 鬼塚 秀親さん



- Q 氷川町梨マラソン大会出場の経緯について教えてください。
- A この大会は、広告で知り友人と参加しています。今回で7回の参加になります。
- Q マラソン歴と走る練習はどの位されていますか。
- A 走るのを始めたのは40歳の時からで、約50年になります。現在の練習は、週3日程度で1時間。4~5km走ったり歩いたりしながら、その日の体調に合わせて体づくりをしています。

Q 今まで出場された主なマラソン大会を教えてください。

A 天草マラソン大会・牛深マラソン大会・あさぎり町マラソン大会です。他にも各地の大会に参加しました。

Q この大会の感想を教えてください。

A アップ・ダウンが多く難コースでしたが、帰りは下り坂だったので頑張って走ってきました。いい汗がかけました。

Q 来年も参加して頂けますか。

A 友人の林田幸男さんと是非参加致します。



ラストスパート (中央 鬼塚さん、左 林田さん)

鬼塚さんありがとうございました。

◎鬼塚秀親 (おにつか ひでちか) さん 91歳
熊本県上天草市松島町在住

●表紙のつくりかた

9月22日氷川中学校で体験学習「チャレンジショップ」がありました。3年生が町内の商店から仕入れた野菜や果物、お菓子などの商品を訪れた地域の住民に販売。

「ありがとうございます！生徒の爽やかな声が心地よい気分にしてくれました。」



●編集後記

最近ニュースを観ていますと、コロナ感染症、ロシア・ウクライナ戦争、統一教会、と連日報道されています。その中でメディアが一方的に流す情報を私たち国民は鵜呑みにしてしまいがちですが、本当にそうなのだろうか？と思う様なことが多々あります。大切なことは、疑問に思う報道はネットを使い自ら調べる事で、違った視点での物事の考え方、新たな真実に気づくこともあります。この様な時代だからこそ、氷川町をしっかりと見つけ、皆様が幸せに暮らせる社会の実現に向けこれからも頑張っていきます。(飯田)

- | | |
|-------|-------|
| 発行責任者 | 米村 洋 |
| 委員長 | 吉川 義雄 |
| 副委員長 | 長尾憲二郎 |
| 委員 | 片山 裕治 |
| 委員 | 飯田 健二 |

